

板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030（原案）【概要】

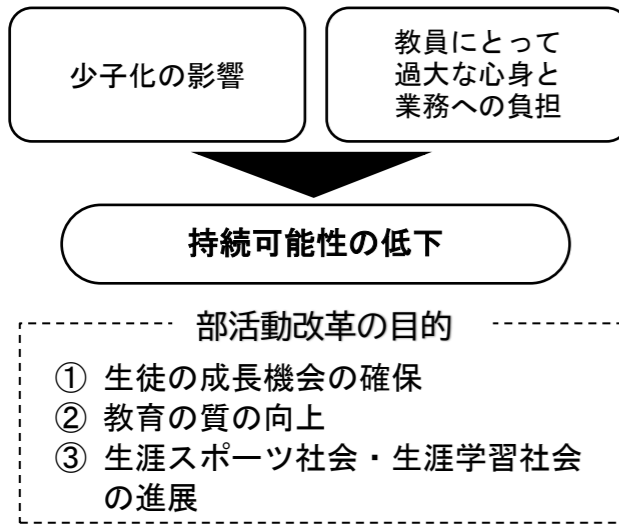
第1部 板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030



序章 板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030の策定にあたって

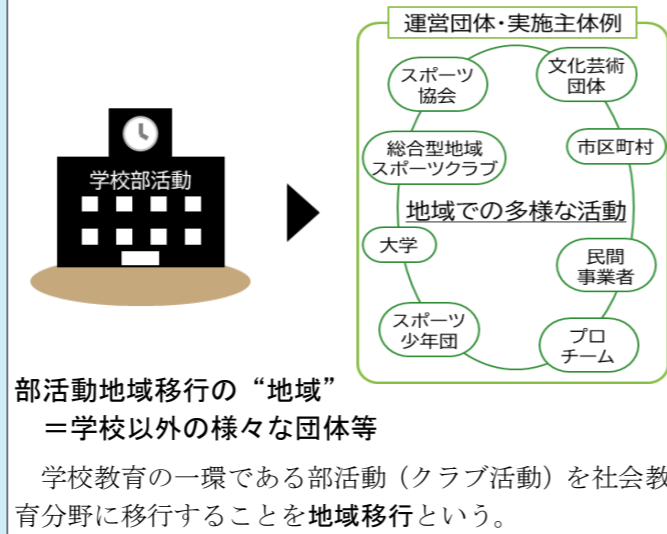
1 ビジョン策定の背景

原案 P2~P5



★地域移行とは★

原案 P4



2 板橋区立中学校部活動の現状

原案 P6

部活動数	300部	運動部 174部 文化部 126部
部員数	7,754名	※兼部している生徒は重複して計算
顧問数	570名	※1名の教員が2部の顧問をしている場合は、2名として計算
部活動指導員数	3名	
部活動指導補助員数	243名	

3 部活動に対する意識調査結果

原案 P7~P28

	対象者総数	回答者数	調査期間	調査項目
教員意識調査	554名	188名	令和5年7月14日～9月12日	27項目
生徒対象調査	9,343名	4,021名	令和5年10月13日～12月4日	58項目
保護者対象調査	9,601名	1,675名	令和5年10月20日～11月6日	17項目

4 学校部活動における課題

原案 P29~P35

- 持続可能性への懸念
 - ①少子化による影響
 - ②教員の長時間労働
- 生徒の成長機会
 - ①生徒のニーズと選択の自由
 - ②運動部活動における「補欠」という制度
 - ③指導者の種目・分野に関する知識と経験
- 活動の過熱化
 - ①活動の長時間化
 - ②けが
 - ③勝利至上主義的な考え方とその弊害
 - ④不適切な指導
- 生涯スポーツ社会・生涯学習社会の醸成

第1章 板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030

1 めざす将来像

原案 P36

区立中学校の部活動を学校教育から社会教育分野へ地域移行し、すべての人々が、多様な分野で、多様な価値観で、生涯にわたり、スポーツや文化芸術、学問に親しめる第三の居場所をもち、人生を豊かに過ごすことができるまち

上記に加え、生徒・教員・生涯スポーツ社会・生涯学習社会それぞれの視点のアウトカムイメージを設定

2 子どもたちへのメッセージ

原案 P37

放課後や休日に広がる新たな世界で、地域と繋がった自分をデザインしてみよう。

専門的な技術指導 新しい人との出会い 多様な活動の機会 サードプレイス（第三の居場所）

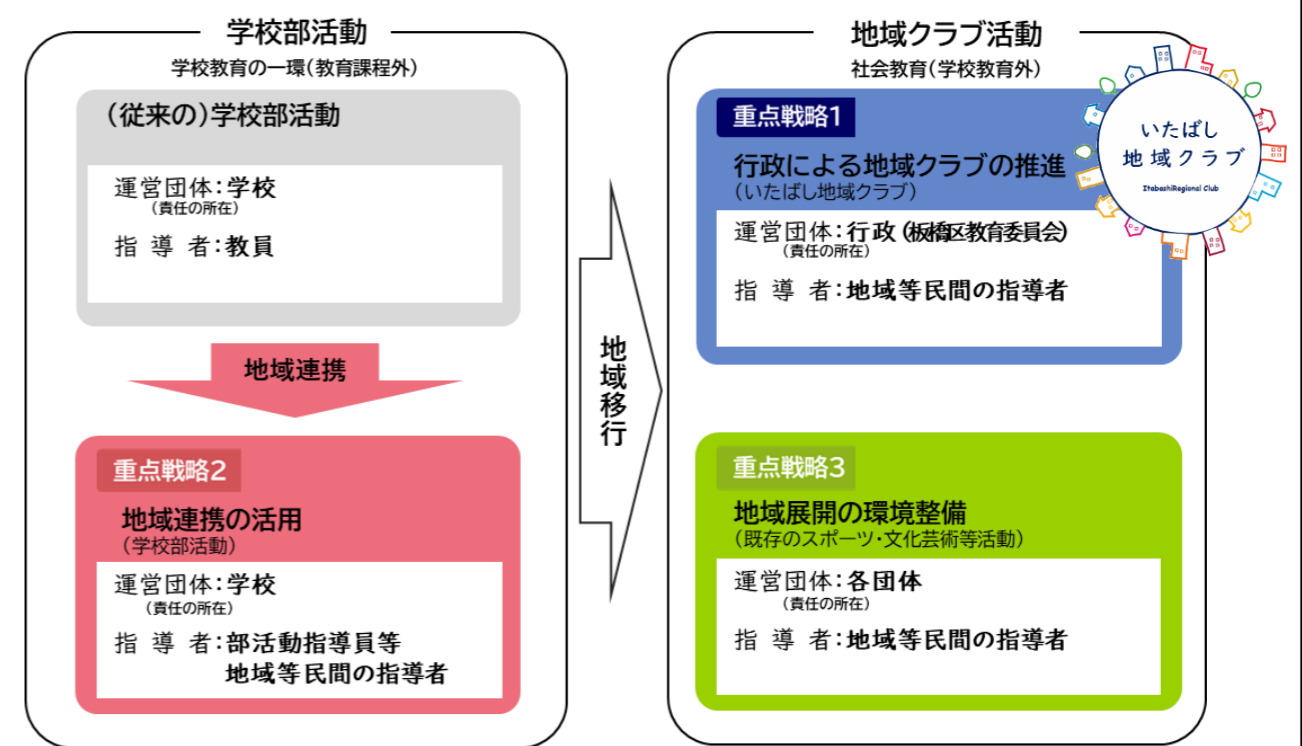
3 第一次目標(直近のマイルストーン)

原案 P38~P39

土日における部活動の教員に頼らない指導体制の構築

4 重点戦略

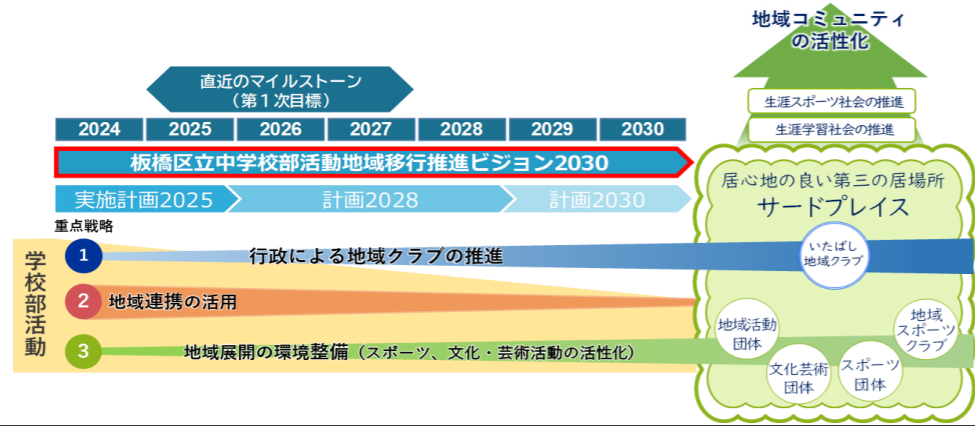
原案 P40~P41



5 計画期間
6 ビジョンの位置づけ

原案 P44~P45

- 部活動の地域移行について、2030年時点で実現したい将来像を設定する。
- 令和6(2024)年度から令和12(2030)年度まで
- 国が定めた改革推進期間：令和5(2023)年度から令和7(2025)年度まで



国・東京都いずれにおいても令和8(2026)年度以降について、明確な定めを示していないため、地域移行ビジョン2030については、地域移行実施計画2025とあわせて令和7(2025)年度に見直しを行うことがある。

7 推進体制

原案 P45

- 生涯にわたりスポーツや文化芸術、学問に親しめる生涯スポーツ社会・生涯学習社会をめざす。
- 部活動改革の推進にあたっては、教育、スポーツ、文化芸術の関係各課が連携し、進めていく。

8 推進方針

原案 P46~P47

- 希望するすべての子どもたちが誰一人取り残されことなく、活動に参加できる仕組みの構築をめざす。
- 学校部活動を地域移行する際は、生徒、教員、保護者、地域の方々等、関係者の声を受け止め、合意形成に努めながら推進する。
- 生徒の部活動に対するニーズを把握し、既存部活動の種目・分野に捉われず、子どもたち一人ひとりの興味・関心に応じた活動機会を充実させる。
- 運動部活動については、スポーツ基本法に定められた「スポーツ」ということばが持つ「身体を動かす」という人間の本源的な欲求に応え、「精神的充足をもたらす」という理念に基づく活動をめざす。
- 文化部活動については、生徒たちが文化・芸術・学問等に触れる機会を提供し、一人ひとりの興味・関心と探求心を充足させ、もって自己肯定感の創出、自己実現へとつなげていける活動をめざす。
- 「文化部で活躍している運動好きな生徒には、スポーツをする機会を」、「運動部で活躍している生徒には、文化的な活動の機会を」というように、国ガイドラインで提唱された複数の活動に同時に取り組める環境を整備する。
- 特定の人に負担が偏ることがないように、部活動改革に関係するすべての人が、それぞれの役割を担い、同時にこれまで以上にやりがいを感じられる、持続可能性のある仕組みとして整備する。
- 学校部活動を地域移行する際は、教育的意義を継承しつつ発展させ、推進していく。
- 学校部活動の地域移行を契機として、生涯にわたりスポーツや文化芸術、学問に親しめる生涯スポーツ社会・生涯学習社会をより一層推進していく。
- 「板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030」及び「板橋区立中学校部活動地域移行実施計画」を見直す際には、関係者（生徒、教員、保護者、地域の方々、学識経験者、関係団体等）から意見や助言を得ながら検討を進めていく。

第2章 部活動改革の取組にあたっての課題



1 取組にあたっての主な課題

原案 P48~P49

- (1) 指導者の専門性と資質・能力
- (2) 必要な指導者数の確保
- (3) 活動場所
- (4) 受益者負担
- (5) 大会等への参加
- (6) 各種団体との連携
- (7) 関係者の意識改革
- (8) 財源の確保

第2部 板橋区立中学校部活動地域移行実施計画2025



第1章 板橋区立中学校部活動地域移行実施計画2025の策定にあたって



1 計画の位置づけ
2 計画期間

原案 P52

- 区立中学校部活動や区内スポーツ、文化芸術等活動団体の実態に即した施策展開を図る。
- 令和6(2024)年度から令和7(2025)年度までの2年間

第2章 重点戦略と取組



1 取組一覧
2 取組の紹介

原案 P53~P60

重点戦略1

行政による地域クラブの推進

- 取組1 いたばし地域クラブの本格実施
 - ① 新たな個別クラブの設置 (学校部活動にある種目・分野の個別クラブ開設)
 - ② 既存の個別クラブの拡大検討
 - ③ いたばし地域クラブ啓発のための新たな取組の内容検討・実施
- 取組2 指導者人材の発掘と確保
 - ① 指導者研修の検討・実施
 - ② 指導者用のガイドライン策定の検討
- 取組3 希望する教員の兼職兼業制度の導入
 - ① 兼職兼業制度の導入に向けた整備

重点戦略2

地域連携の活用

- 取組1 部活動を支援する外部人材活用
 - ① 部活動指導員の活用・効果検証
 - ② 部活動指導補助員の活用
- 取組2 学校現場の意識改革
 - ① 学校部活動現場視察
 - ② 学校部活動顧問との意見交換の実施
- 取組3 合同部活動の促進
 - ① 合同部活動の調整

重点戦略3

地域展開の環境整備

- 取組1 部活動地域移行シンポジウムの開催
 - ① 部活動地域移行シンポジウムの開催
- 取組2 デジタルガイドブックの発行
 - ① 部活動地域移行シンポジウムの開催
- 取組3 受皿となる団体の認証制度の検討
 - ① 認証制度の検討

共通項目

- 取組1 国・東京都への働きかけ
 - ① 国・東京都への要望書等の提出による働きかけ
- 取組2 地域人材を活用した地域移行への枠組みの検討
 - ① 地域人材を活用した地域移行への枠組みの検討